

令和2年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
若年性認知症支援者研修会 北部地区開催 報告書

1. 研修会名：「令和2年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 若年性認知症支援者研修会」
2. 目的：若年性認知症の方々が、個々の状態に応じた適切な支援が受けられること。
認知症と診断されても治療しながら働く（両立支援）・就労支援について普及啓発実施。
3. 主催：沖縄県（受諾 特定医療法人アガペ会）、共催：認知症疾患医療センター
4. 対象：医療・福祉・就労に携わる支援者、若年性認知症初期相談対応職員。
5. 方法：平成31年3月 認知症介護研究・研修大府センター作成
企業等を対象とした若年性認知症の理解促進に向けた研修会テキスト資料を用いて就労支援の方法について説明を実施。
6. 開催地区並びに開催日、時間、会場について

開催地区	開催日及び時間	会場と定員数
北部地区	令和2年度7月17日（金） ①13時～14時（受付12:30～） ②15時～16時（受付14:30～）	名護中央公民館（第1・2研修室） ①20人 ②20人

※新型コロナウイルス感染拡大予防対策について

「沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」や開催会場のガイドラインに沿って開催。

最少人数・時間短縮での開催、マスク着用、健康状態申告書の提出、消毒等、感染予防対策に従事する。

最少人数・時間短縮による開催の為、参加者の距離、換気、消毒の徹底に努め、2回開催とした。

7. 参加費用：無料
8. 申込方法：専用申し込み用紙に、開催地区選択、氏名、所属先、連絡先、健康状態申告書の送付先記載をし、FAX（098-943-4702）まで。FAXがない方は電話申し込み（098-943-4085）。
申し込み期間：令和2年7月～開催日の1週間前まで（参加決定者に健康状態申告書の送付を行う為、1週間前に締め切り期限を設定）、先着順とした。
9. テキスト：新型コロナウイルス感染拡大予防対策に基づき、配布資料なしとした。
10. 広報

・新オレンジサポート室：「R2年度若年性認知症支援推進事業」チラシ・ポスター郵送

・ 県高齢福祉課：「若年性認知症支援者研修会要項」を福祉関係機関へ FAX

11. 申込人数 ①12名 ②16名

12. 参加人数 ①12名 (医療0名、介護保険事業所2名、包括7名、行政3名)
 ②15名 (医療0名、介護保険事業所2名、包括9名、行政4名)

13. 研修内容

【若年性認知症当事者の就労について、沖縄県内の支援状況】

内 容	
1	就労支援 若年性認知症・認知症とは 若年性認知症の人への就労支援 ・雇用期間中にできること、ジョブコーチ支援、福祉的就労、社会参加 ・ソフトランディングの視点 ・若年性認知症支援コーディネーターの役割について
2	沖縄県の現状 ・沖縄県内の若年性認知症当事者の就労について事例報告 ・若年性認知症当事者・家族による自助活動グループ「フンドウ」紹介

14. 質疑応答

- 1) なし
- 2) なし

15. アンケート結果 回答 27名 回収率 100%

16. アンケート内容

※コロナウィルス感染拡大予防対策に基づき、記載したアンケートは3日、日数経過を置き集計作業を実施した。

質問1 現在、またはこれまでに、若年性認知症の方の就労支援をおこなったことはありますか。

ある **3** 支援内容 ①・支援相談員（障害サービス）と連携してB型就労へつないだ。
・福祉的就労。
②・若年性認知症で就労したいが、治療へつなげた。

ない **12** ・ 相談がない **12** ・ その他 ()

質問2 現在、若年性認知症の方を支援していますか。または、支援が必要な方はいますか。

いる **5** 困っていることなど
・医療につながらない。
・対象者の自尊心へ配慮したつなぎ支援。例えば専門医受診など本人を傷つけないでつなぐ方法、家族の協力も得られにくい場合に具体的にどのようなアプローチが

よいか？判断・対応に困ってしまう。段階的に支援するにも、若年のあまり支援者が慎重になりすぎてしまう。

いない **22**

質問3 本日の研修会で若年性認知症の方の就労支援について理解できましたか。

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	回答なし
14	12	0	1

質問4 若年性認知症支援コーディネーターの役割について理解できましたか。

とても理解できた	まあ理解できた	難しかった	回答なし
20	7	0	0

質問5 本日の研修会で参考になったこと。

- ・フンドゥーの活動があること。
- ・まだまだ当事者の行き場が足りないことを痛感しました。若年性の方も高齢者も、もっとサービスや就労の幅を広げられるようにしたいです。
- ・当事者の気持ちの変化。
- ・ジョブコーチ支援について。
- ・いろいろ活動できているんだな・・・と。
- ・本人、家族、事業所へのつながりかた。
- ・若年性認知症の方への具体的な支援方法が分かりとても勉強になった。今後相談があった際にはぜひ参考にしたい。また相談もしたいと思う。ありがとうございました。
- ・本人の能力を見極めながら就労場所決定。一度つながったらそのままではなく、適宜見極めてチャレンジを促す発想。
- ・ケースを紹介していたので、具体的な支援方法が知れた。
- ・若年性認知症疑いの方がいた時の受診先は認知症疾患センターが良いこと。
- ・多くの事例が参考になりました。
- ・B型事業所でおちつくケースが多いことが分かった。本人に合わせたサービス選びが大切。
- ・事業所側やケアマネの困りごとや本人の様子。
- ・介護優先が言われる中で、障害と介護を併用しているところが参考になった。
- ・高齢者の認知症の違いの3つの点。
- ・A型、B型について。障害者の就労支援事業についてもっと学ぶ必要があると感じさせられました。
- ・若年性認知症となった時これからの仕事や家庭の中の問題が多種多様ということ。
- ・支援の工夫、事例が多かった。
- ・うつ病との関連が高いので生活習慣病から、疾患センターにつなげた方がよいという事。

質問6 コーディネーターに望むこと、コーディネーターから欲しい情報はありますか。

- ・家族支援制度でフォローできない部分への支援はどのようにサポートしているのか（事例等）

- ・国や県における若年性認知症の方を取り巻く制度の動きや今後の方向性について。
- ・県内における対象人数や居住地区別人数、発症人数等も分かるのであれば知りたい。
- ・北部ならではの課題、こういうものがあれば・・・これができればいいな・・・など社会資源構築の参考になるようなものがあれば教えて欲しい（若年性認知症の視点で）
- ・初めての受診への持って行き方に困る。本人の受診拒否などがあると、つなぐまでに時間がかかってしまう。
- ・今はありません。
- ・研修の中で説明できていたと思います。
- ・若年性認知症になった方のデータ（女性は卵巣手術をした方 etc）何らか因果があるのかもっと知りたい。

質問7 今回の講演会についての満足度を教えてください。

とても良かった	まあ良かった	良くなかった	回答なし
<u>9</u>	<u>16</u>	<u>1</u>	<u>0</u>

質問8 今後、オンラインでの研修会を開催した場合、参加したいと思いますか。

参加したい **19** （参加できるネット環境：職場 **14** ・ 個人 **3** ・ 回答なし **2** ）

参加したくない **0** （理由： ）

参加できない **7** （理由：ネット環境がない **4** * You Tube なら OK
利用困難 **1**・職場対応困難 **1**・集中できない **1** ）

質問9 次回への要望や感想など（自由記載）

- ・新型コロナが落ち着いたら時間の延長してほしい。
- ・当事者の声を聞きたい。支援者として関わる中で、コーディネーターとして支援する難しさは高齢者とは異なる点も多く大変だと思います。今回はコロナ禍でより調整も困難な中、講演ありがとうございました。
- ・コロナ対策とはいえ持ち帰り資料がほしかったです。ありがとうございました。
- ・ゆっくり対活形式で。
- ・マスクをしないで伝える方法があるといいですね。聞こえづらいです。
- ・就労事業の見学もとり入れられないか。
- ・今回はコロナのため資料がありませんでしたが、とても内容の充実した研修でしたので（スライドなど）資料を頂けると嬉しいです。包括内でも共有したいです。
- ・次回は時間を長くとり、事前にホームページに資料をのせてダウンロードして持参できる形にしてほしい。
- ・事例が多く具体的だった。
- ・自分が支援に関わる時の参考になった。今後若年性認知症の相談があり悩んだ時は相談したい。

17. 主催者の所感

コロナウィルス感染拡大予防対策の為、人数制限（最小人数）・時間短縮での開催とした。当初は事例検討会としてグループワークを行なう予定であったが、対話を行う事は避けるという事で急遽、内容変更を行ないました。イベント開催についてもコロナウィルス感染予防の自粛期間を明け、翌月の研修会開催となった為、申込期間が7/6～7/10と短期間での調整となり、十分な広報とはいかなかったと感じています。今回は就労支援についての内容となる為、就労支援事業所等の支援者も対象としましたが、今回北部地区での就労支援事業所の参加はありませんでした。認知症について～就労支援について、コーディネーターの役割、県内の事例報告等について等の全ての内容を説明するには1時間は短く厳しい状況ですが、アンケートの記載を確認すると事例内容は紹介できたかと感じています。感染対策の面から、今後はオンラインでの研修会開催が望めないかも含めて開催方法についても検討していきたいと思えます。

以上